令和７年度事業概況報告

Ⅰ　活動の概況

令和７年度の日本経済は、米国の相互関税、日経平均株価の最高値更、高市政権の発足、地政学リスクの高まりなど、様々な要因に翻弄される1年でありました。

当法人会は「税のオピニオンリーダー」として、税知識の普及、納税意識の高揚、社会貢献活動を柱にし、継続的に魚津税務署をはじめ関係団体とも連携しながら事業運営を行ってまいりました。

近年は、税務行政のDXに歩調を合わせ「ｅ-Ｔａｘ」の利用促進等の周知及び啓発活動を行いました。

青年部会は、次代を担う子どもたちに部会員の協力で租税教室を開催し、法人会の基本である税の普及啓発に努めました。また、女性部会では、税に関する絵はがきコンクールを実施し、税の大切さを広く普及啓発する活動を展開しました。

Ⅱ　主な事業活動

１．公益目的事業について

（１）　税制改正への提言活動

令和８年度税制改正の提言に向け、全法連からのアンケートを当法人会の税制委員等の役員30先にご協力をいただき実施いたしました。

９月開催の全法連理事会では「令和７年度税制改正に関する提言」を決議し、この提言を受けて、当法人会においても正副会長や税制委員長が地元選出国会議員及び管内市町村を代表して魚津市長並びに同市議会議長に要望実現に向け支援要請を行いました。

（２）　社会貢献・税の啓発活動の充実

将来の地域社会を担う子どもたちの心身の健全な発達を支援するため、公立図書館に図書購入費の一部を助成すること及び小学生に税に関する各種の教室や広報活動を通じて、広く税の大切さを深める活動を行いました。

①「児童向け図書の購入費用助成」事業

・対象団体：管内８市町村

・交付団体：２町１村（立山町、上市町、舟橋村）

②「租税教育」事業　（青年部会）

・管内小学校：22校（前年度28校）で計27回（前年度31回）

・受講児童総数：836名（前年度996名）

③「第16回税に関する絵はがきコンクール」募集事業　（女性部会）

・管内小学校42校（5～6年生対象）：配布数2,827枚（前年度2,829枚）

・絵はがき応募者数：403名（前年度442名）

・絵はがき入選者：40名には各々図書カード贈呈

（３）　研修活動・講演会活動の充実

会員企業等に各種自己啓発支援事業として、特に税法・税務は法人会事業の根幹とし、講師に税務当局担当官等のご支援のもと研修内容の充実を図りました。また、受講者へのアンケートを

実施し、要望に応じた研修テーマを選びながら実施しました。

研修会は、広く市民にも開放しており新聞やホームページにも掲載しPRに努めました。

①	定例研修会	9回	279名
②	特別講演会	2回	117名
③	支部研修会	4回	30名　（支部役員会出席者数）
④	青年・女性部会研修会	4回	103名
⑤	新設法人説明会	2回	18名
⑥	決算期別研修会	3回	66名
⑦	年末調整説明会	1回	36名
	計	25回	649名
		（前年度24回）	（前年度628名）

なお、上記中で一般市民の参加者は主として「特別講演会」、その他定例研修会でも参加がありました。また、定例研修会の参加者には、「税制改正のあらまし」等の各種冊子を無料で配布いたしました。

（4） 広報活動の充実

ホームページ、会報誌を通じて税の啓発に資する情報を提供し、租税教育事業、助成金事業については、地方紙、ＴＶ局等のマスメディアの協力を得て、知名度向上に努めてきました。

① 会報誌「明日香」は、税法について紹介するなど紙面を一層充実させました。

なお、全法連発行の「ほうじん」も同時期発行物を同封して送付しており、相乗効果を図りました（公共及び友誼団体窓口等にも同様配布）。

② ホームページは常時更新に努め、各種広報と共に情報提供や情報公開を逐次行いました。

２．組織・財政基盤の強化について

（1） 組織の強化充実

会員加入数を各支部法人数の1%を目標として、各支部共々増強活動を推進致しました。

しかしながら、保険３社のご尽力等にもかかわらず、昨年に続き目標値を下回り、下記のとおり近年は入会に対して退会が上回り、加入率は40.0%以下で推移しています。

会　員　移　動　状　況

項　　目			会員数	加入率
令和 7年 3 月 末			1,205 社	36.9%
令和5年度中移動	入　　会		21 社	
	退　　会		40 社	
	内訳	脱会	16 社	
		解散等	14 社	
		転出・合併等	3 社	
		休業	0 社	
		喪失	7 社	
令和 8 年 3 月 末			1,186 社	35.8%

（２） 青年部会・女性部会の充実

① 青年部会

活動の中心である「租税教育活動」事業が前年に引き続き、管内小学校42校のうち22校で27回の租税教室を開講し学校からも好評でした。

② 女性部会

女性部会のあり方指針に則り、従来より継続中の下記諸事業につき、積極的に進化・発展させ拡充に努めました。

・租税教育活動・・・・・・「税の絵はがきコンクール」を実施しました。
・先進地視察研修会・・・・南砺市城端の絹織物の松井機業、ワイナリーのドメーヌ・ボーを視察研修先として訪問しました。
・会員研修会・・・・・・・今回は、初めての企画で「和菓子の作り方」を開催しました。
・地域社会貢献活動・・・・「いちごプロジェクト」、「食品ロス削減の取組み」「使用済切手の収集」活動の推進を図りました。

（３） 福利厚生事業について

会員各位のご理解により、福利厚生制度保険の受託３社と連携して重点商品であります「経営者大型保障制度」、「ビジネスガード」、「がん・医療・給与サポート保険」等を中心に制度の普及啓発活動に努めました。

また、福利厚生制度50周年の２箇年事業として「想いをつないで50年『会員企業を守りたい』キャンペーン」を推進しました。

大型保障制度保険金・給付金支払状況

（ 令和７年４月 ～ 令和７年12月末 ）

区　　分	件　数	金　　額	備　考
死亡保険金　（ 大同 ）	2件	7,000万円	
手術給付金　（ 〃 ）	19件	235万円	
入院・通院給付金（ 〃 ）	30件	303万円	
後遺障害保険金　（ＡＩＧ）	0件	0万円	
その他　（ 〃 ）	25件	203万円	
合　　計	76件	7,741万円	

大同生命保険株式会社
ＡＩＧ損害保険株式会社

「がん保険制度」支払状況

（ 令和７年４月 ～ 令和８年３月 ）

区　　分	金　　額	備　考
診断給付金	210万円	
入院給付金	49万円	
死亡保険金	275万円	
そ　の　他	188万円	
合　　計	722万円	

アフラック生命保険株式会社